

2025年度「タイ短期派遣プログラム報告書」

地域環境科学部 地域創成科学科 2年 川島壮平

1. 当初の目的

海外の農業に興味があり、タイ（東南アジア）での農業について学び、体験したいことが第一の目的だ。他にも、海外の文化に触れてみたいこと、積極的にコミュニケーションをとり知見を広げていきたいことも目的の一つだ。また、様々な地域を訪れてみたいと感じていることや、高校生の頃から留学に興味があり、一度は海外でのプログラムに参加したいと感じていたことから参加した。

2. 目的達成のために現地で活動した内容

海外の農業について知る・体験する

3日目の牛について学ぶことや、昆虫ドーム（農学部）、5日目のタイ農村生活学習センターでの田植え、7日目のココナッツ農園、9日目の工学部、水産学部（キャンペンセン・シラチャー）の訪問など、様々な経験をすることができた。

特に、田植えの際にタイのお米のイネの長さは日本のお米よりも長いことを知ったことや、持続可能性や地域社会との関わりを重視したココナッツ農園の取り組みには感心した。また、ティラピアは上皇陛下の皇太子時代に寄贈したことがあり、日本との繋がりがああることも知ることができた。

海外の文化に触れてみること

気になったらとにかく試してみた。何日か大学のカフェテリアで朝食を食べる機会があったので食べたことのないもの、行ってないお店を積極的に選んでみた。他には、ナイトマーケットを訪れた際には気になったものを買ってみたりした。また、タイ料理ではないと思うが、大学のカフェテリアにあったアボカドスムージーが気になり飲んでみたら美味しかった。自分で作ってみるなどしてまた飲みたいと感じた。

6日目のアユタヤや7日目のナコンパトムのビッグパゴダ訪問、帰国前日の自由時間でのバンコクなど観光地にも訪れることができた。また、アユタヤ観光の日にゾウに乗れたことはとても良かった。私は乗ることに迷っていたが満足したので乗って良かった。

海外の文化という話からはズレるが、タイは日本のポップカルチャーがかなり浸透しているので日本発祥のものを多く見かけた。

コミュニケーションをとり知見を広げる

基本的に全行程でカセサート大学の学生が交代しながら同行してくださったのでその人たちや、学部訪問の際にその学生とコミュニケーションをとった。また、夜にはナイトマーケットやカラオケに連れて行ってくださったのでその時の交流もあった。

3. 目標達成度の自己評価

海外の農業について知る、体験する

これはプログラムを通じて達成できたのかなと感じている。

また、拙い英語ではあったが、気になることがあったら質問をするように心がけた。この姿勢はこれからも続けていきたい。

海外の文化に触れる

この目的はほぼ達成できたと感じている。気になったら試す姿勢は良かった。

コミュニケーションをとり知見を広げる

コミュニケーションをとる機会は多かったものの、積極的かという疑問符が付く。知見はある程度は広げることができたと感じている。

4. 今後の取り組み

タイについて興味を持ち続ける。

カセサート大学の学生が東京に来た際にはもてなす、交流を持ち続ける。

タイ語の勉強の継続、英語の定期的な資格試験の受験（TOEIC等）。

5. その他

(ア) 持って行って良かったもの

・羽織るもの（上着）

移動中のバスの中や屋内施設（特にスーパー）は寒いくらいに冷房が効いているので、薄手でも一着あると安心。滞在中は常に持参していた。

・ドライヤー（変圧対応のもの）

大半を過ごした「International Dormitory」には備え付けられていなかったの
で髪を乾かしたいのであれば必要だと思う。

・ハンガー

部屋にはハンガーが1人1つしかないので洗濯物を干すには必要。角ハンガー
（洗濯バサミが沢山釣り下がっているもの）は特に持って行って良かったと感じた。

・スリッパ（室内用、軽い外出用）

部屋にスリッパはなかったの部屋にいる際や建物内の移動で使った。また、手荷物に入れておけば飛行機の機内でも使えるので、使えばより快適なフライトになると思う。

・お菓子

バスでの移動中などに現地の学生からお菓子を頂くのでお返しに用意しておくと思
う。僕はさつまいもクッキーとブラックサンダー（溶けてほぼ自分で食べた）を持っていった。

(イ)用意したがいらなかったもの

・水着

使用する機会が無かった。ただ、これはプログラムの内容によって変わると思うので詳細なスケジュールを確認してから持っていくかを決めた方が良いと思う。

・バスタオル

宿泊したすべての場所でタオルが備え付けられており、毎日交換していただいたので必要ないと感じた。また、緩衝用に一枚持って行っても良いと感じた。これは余談だが、タイは2月でも暑く汗をかくので、フェイスタオルは複数枚持っていくと良いと思う。

・水筒

現地では食事の際や学部訪問の際にペットボトルの水を頂けたので初日以外は使わなかった。冷たい水が飲みたいというこだわりがなければ必要ないと思う。

・変換器

必要なかった。

(ウ)現地で使用したお小遣いの金額

2000 バーツ程度 (約 1 万円)

基本的に食事は3食出るので、普段使う機会はコンビニに寄ったときや出かけた時くらいだった。今回訪れた場所でクレジットカードが使えたのはナコンパトムとバンコクのショッピングセンターくらいだったので現金は多めに用意した方が良いと思う。

6. 次年度以降の参加者へ

(ア)事前に準備した方がよいこと

・必要なものを1週間前までにまとめる

この時点では買わなくてもいいとは思いますが書き出しておくとおラクになる。ただしeSIM(Wi-fi)はもっと前(2週間前くらい)に準備したほうがいい。

(イ)勉強しておくべきこと

・実際に訪れる場所の事前学習

予備知識があるとより深く学習でき、楽しめると思う。

・英単語(特に農業に関する用語)を覚えておく

農業に関する用語はざっとでもいいので目に通しておくとお話がより分かると思う。

(ウ)さいごに

タイの農業を中心に様々な経験ができ、とても貴重な2週間だった。もし興味があれば是非申し込んでほしい!



大学内の移動に用いたバス



タイの桜「チョンプー・パンティップ」



口に卵をくわえるティラピア



バッファロー



カニを手にとってみた



ココナッツウォーター